WILL GROUP

2027年3月期

第2四半期 決算説明会

2026年11月10日

株式会社ウィルグループ

東証プライム市場　証券コード：6089

https://willgroup.co.jp/

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

Agenda

1. 2027年3月期 第2四半期 (累計) 実績　P. 3
2. 2027年3月期 通期業績予想、株主還元　P. 23

※本資料においては一部、「国内Working事業」を「国内W」、「海外Working事業」を「海外W」という略称で表記しています。

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

Agenda

1. 2027年3月期 第2四半期 (累計) 実績 P. 3
2. 2027年3月期 通期業績予想、株主還元 P. 23

WILL GROUP

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

業績ハイライト　－ 連結・セグメント －

- 連結では、売上規模の拡大と収益性の向上により大幅増益を達成。好調な上期業績を織り込み、通期業績予想を上方修正。
- 国内Working事業では、正社員・外国人HRビジネスの拡大を通じた収益構造改革を継続。正社員派遣/請負の採用強化及び外国人雇用支援の基盤強化による在籍人数・支援人数の拡大に加え、HR CAREER社における人材紹介の伸長により、売上総利益の拡大と収益性の向上が進展。
- 海外Working事業では、国・領域別の収益性を踏まえた人員配置・採用計画の最適化により、営業生産性が向上。高付加価値案件の獲得及び人材紹介の堅調な伸びを背景とし、売上総利益が拡大。プラスの為替影響 (+1.7億円) も加わり、大幅増益。

売上収益

817.3億円

(前年同期比 **+14.3%**)

売上総利益

188.8億円

(前年同期比 **+23.0%**)

売上総利益率 23.1%
（前年同期比+1.6pt）

営業利益

24.9億円

(前年同期比 **+52.0%**)

営業利益率 3.0%
（前年同期比 +0.7pt）

国内Working事業

売上収益	セグメント利益
469.8億円 (前年同期比 **+9.9%**)	**22.1億円** (前年同期比 **+25.6%**)

海外Working事業

売上収益	セグメント利益
347.0億円 (前年同期比 **+20.9%**)	**15.5億円** (前年同期比 **+35.5%**)

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

重点戦略の進捗

国内Working事業　正社員・外国人HRビジネスの拡大

- 正社員派遣/請負及び外国人雇用支援の拡大、人材紹介の伸長が売上総利益の増加に寄与。中長期的な成長力向上に向け、生産性の改善に取り組む。

実施した取り組み	事業の変化	成果・課題
✓ 正社員派遣/請負の採用強化 ✓ 外国人雇用支援の基盤強化 ✓ HR CAREER社を通じた医療・福祉領域の人材紹介事業の拡大	【前年同期比】 ✓ 売上総利益率 +2.7pt ✓ 正社員派遣/請負在籍人数 +15.1% ✓ 外国人雇用支援人数 +24.7% ✓ 人材紹介 入社人数 +96.4%	【成果】 重点サービスの拡大が増益に寄与 【課題】 生産性の改善

海外Working事業　生産性を重視した収益力の強化

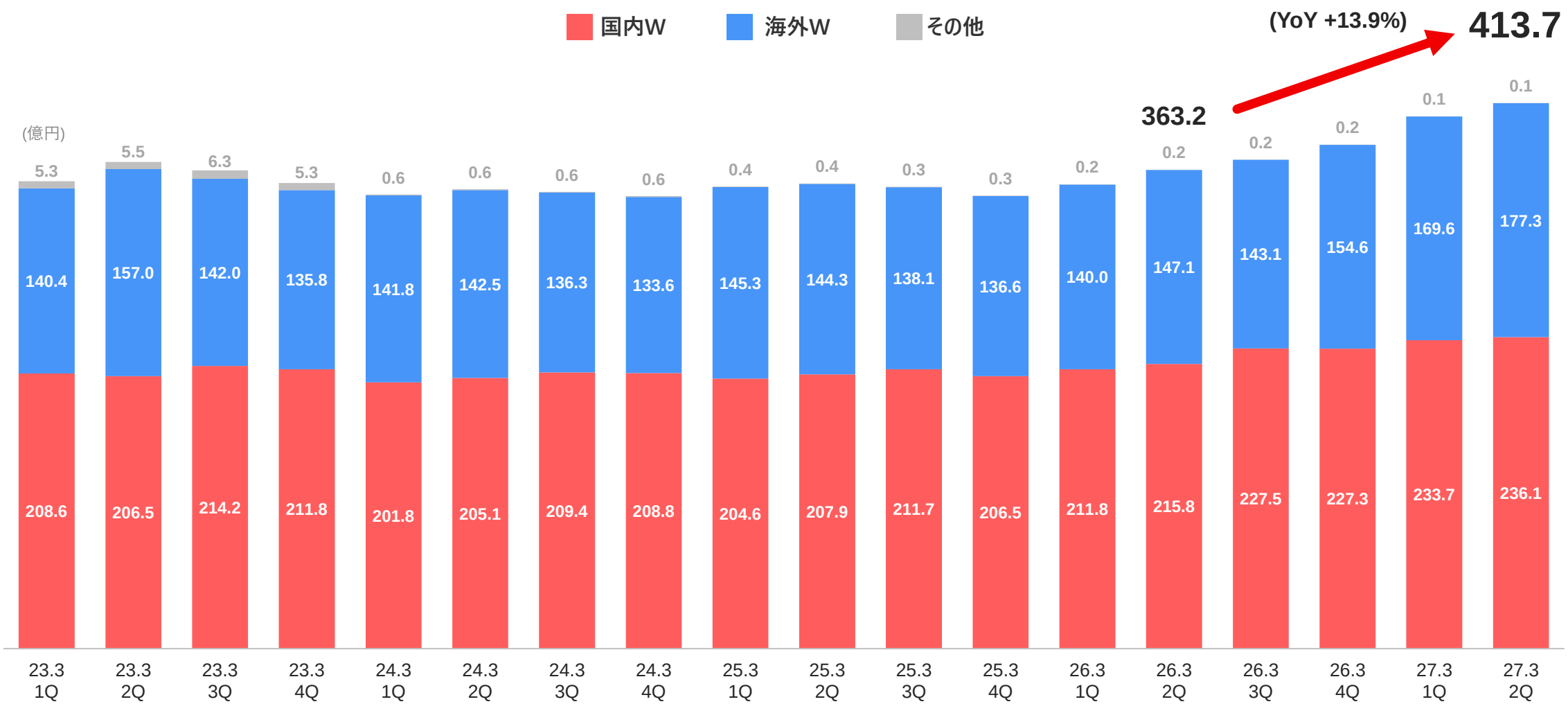
- 収益性を重視した資源配分により、収益効率は回復基調。引き続き、需要環境に応じた人員配置・コストマネジメントに取り組む。

実施した取り組み	事業の変化	成果・課題
✓収益性に応じた営業人員の配置・採用計画の最適化 ✓高単価の人材紹介案件に対する営業活動に注力	【前年同期比】 ✓販管費あたり売上総利益倍率 1.23倍 → 1.26倍 ✓シンガポール・その他における紹介内定人数 +12.6%	【成果】 生産性の改善 【課題】 オーストラリアの需要に応じた人員配置・コストマネジメント

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

四半期推移　－ 連結売上収益 －

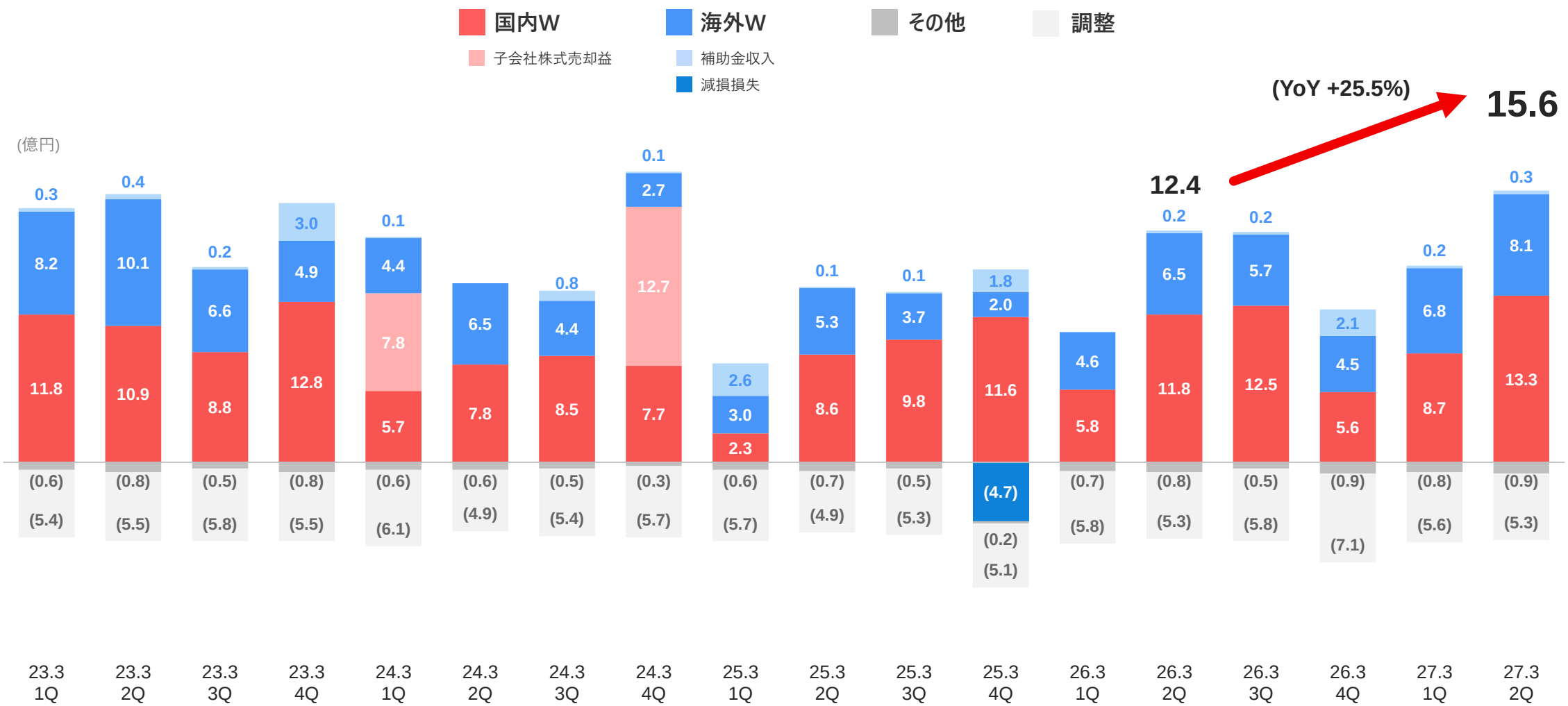
- 2Qの連結売上収益は、26.3期2Q比 50.5億円の増収 (うち、為替影響 +23.8億円)。　四半期売上高は過去最高を連続更新。



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

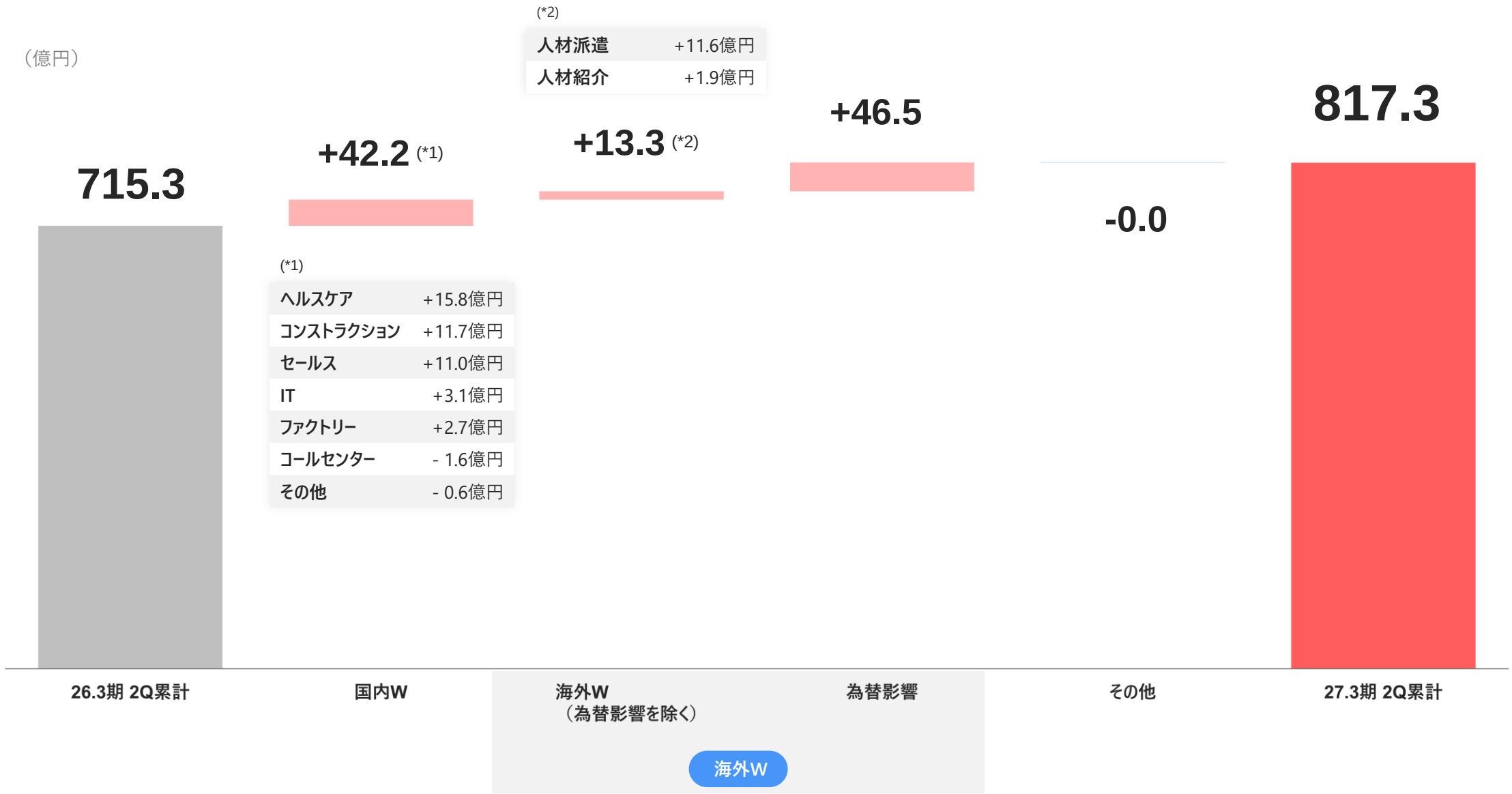
四半期推移　－ 連結営業利益 －

- 2Qの連結営業利益は、26.3期2Q比 3.1億円の増益 (うち、為替影響 +1.0億円、海外Working事業の政府補助金収入 +0.1億円)。



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

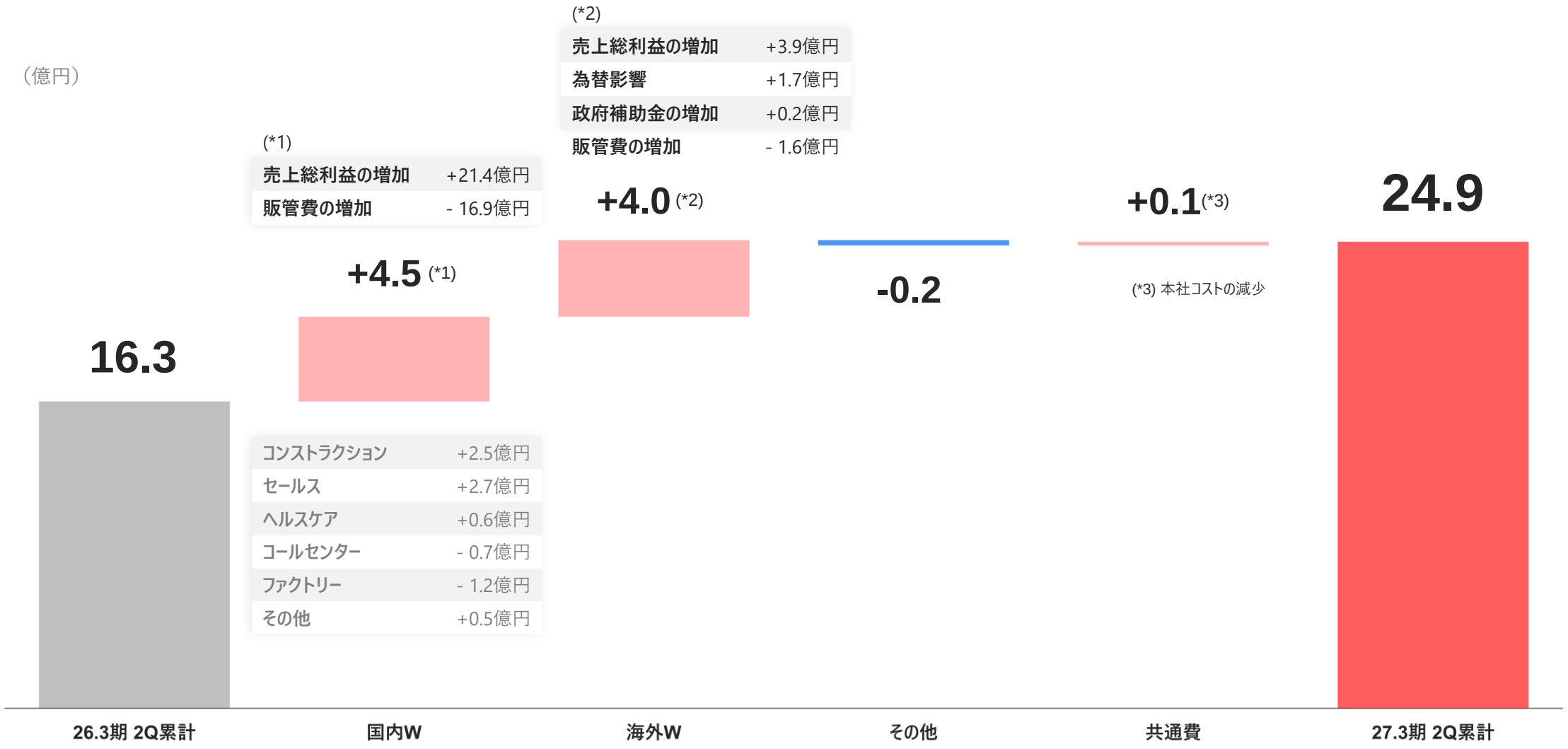
前年同期増減内訳　－ 連結売上収益 －



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

前年同期増減内訳　－ 連結営業利益 －

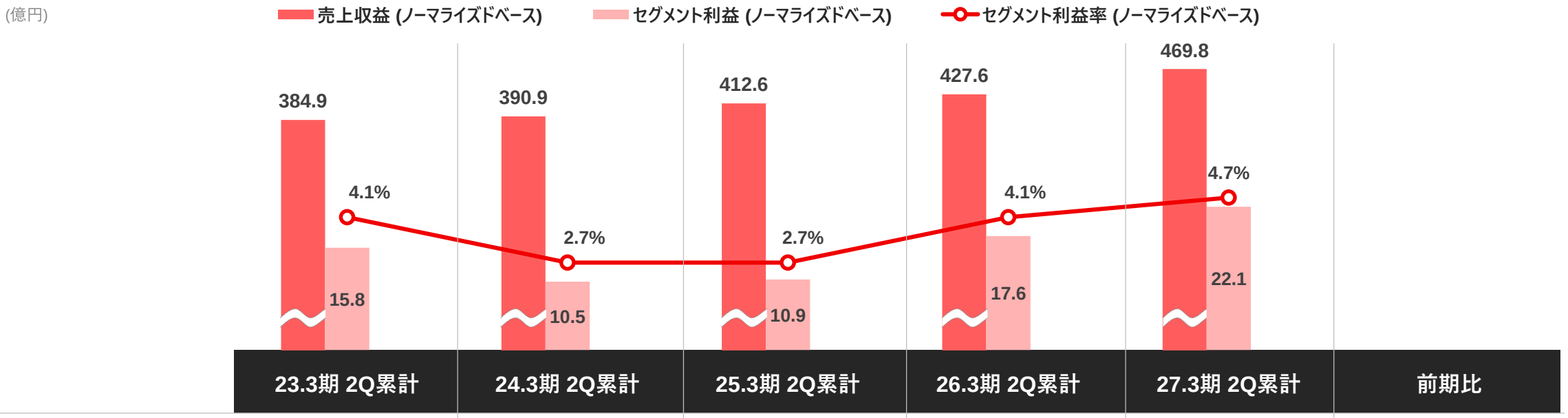
（億円）



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

国内Working事業　－ 全体 －

- 売上収益は、上期過去最高を更新。
- セグメント利益・セグメント利益率 (ノーマライズドベース) は、25.3期を底に改善基調が継続。利益成長率 (前年同期比+25.6%) は売上成長率 (同+9.9%) を大きく上回り、収益構造改革は着実に進展。



	23.3期 2Q累計	24.3期 2Q累計	25.3期 2Q累計	26.3期 2Q累計	27.3期 2Q累計	前期比
ノーマライズド売上収益*1 (売上収益)	384.9 (415.2)	390.9 (407.0)	412.6 (412.6)	427.6 (427.6)	469.8 (469.8)	+9.9%
ノーマライズドセグメント利益*2 (セグメント利益)	15.8 (22.7)	10.5 (21.4)	10.9 (10.9)	17.6 (17.6)	22.1 (22.1)	+25.6%
ノーマライズドセグメント利益率	4.1%	2.7%	2.7%	4.1%	4.7%	+0.6pt

*1　ノーマライズド売上収益：連結除外の影響を除いた売上収益
*2　ノーマライズドセグメント利益：一過性の損益 (子会社株式売却益・連結除外の影響) を除いたセグメント利益

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

国内Working事業　－ 戦略テーマ －

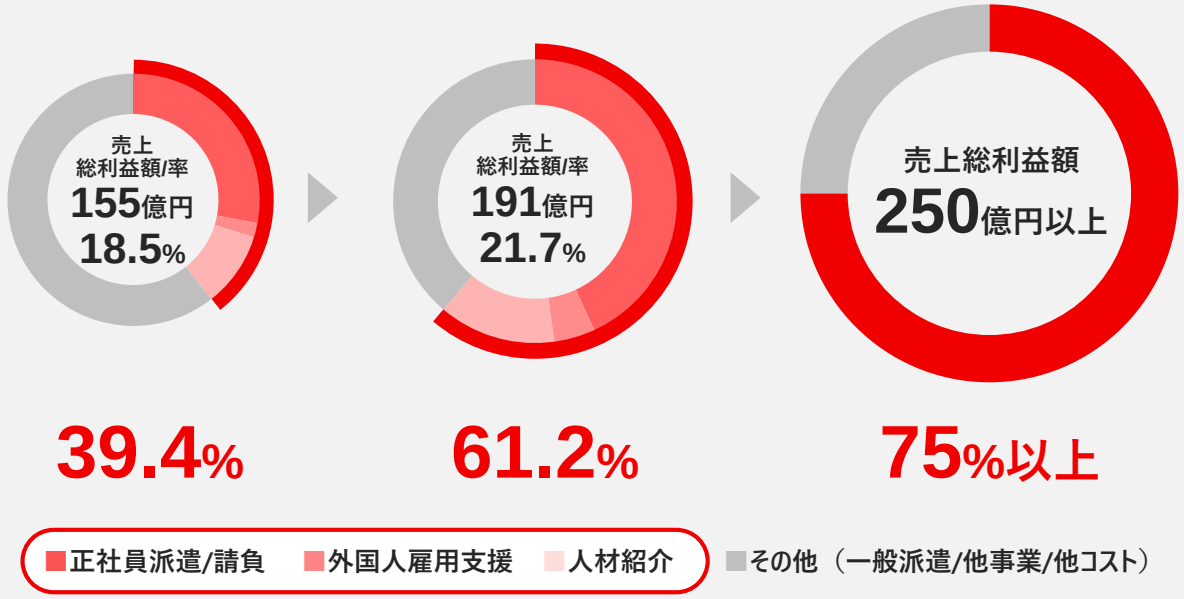
- 中期経営計画「WILL-being 2029」における国内Working事業の戦略テーマは、「正社員・外国人HRビジネスの拡大」。
- エッセンシャル領域*1を主戦場とし、収益性の高い正社員派遣/請負・外国人雇用支援・人材紹介の構成比を高め、29.3期には国内Working事業の売上総利益250億円のうち、同ビジネスが占める構成比75％以上を目指す。

国内Working事業

正社員・外国人HRビジネスの拡大

- 正社員派遣/請負
- 外国人雇用支援
- 人材紹介

売上総利益のサービス別構成比の変化

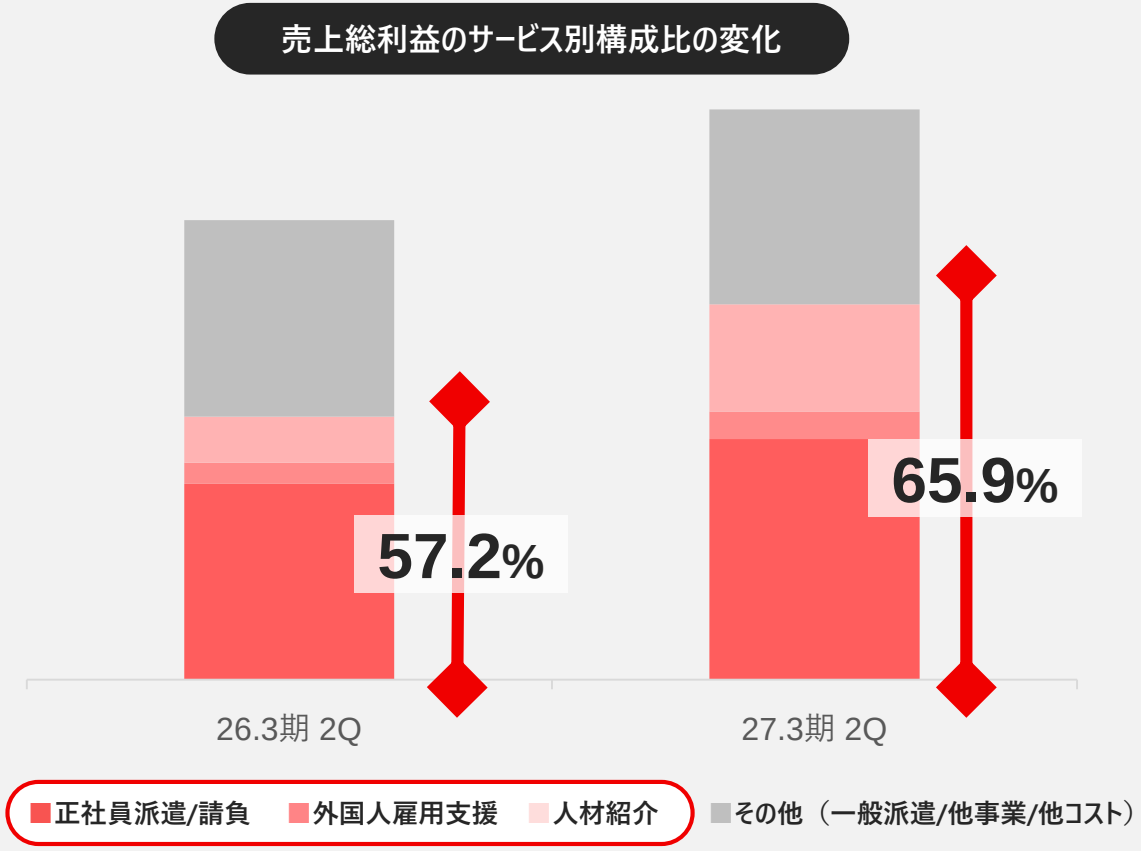


*1　社会生活を維持するために必要不可欠、かつAI代替・自動化されにくい領域。一般的にエッセンシャルワーカーと定義される領域を含む。
*2　子会社売却による連結除外影響を除く。

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

国内Working事業　－ 売上総利益の変化 －

- 正社員派遣/請負及び外国人雇用支援の拡大、HR CAREER社のグループインによる人材紹介の伸長が、売上総利益の増加に寄与。



指標	26.3期2Q	27.3期2Q	前年同期比
国内Working事業の売上総利益額	89.1億円	110.6億円	+21.4億円
国内Working事業の売上総利益率	20.8%	23.5%	+2.7pt
正社員・外国人HRビジネスの構成比	57.2%	65.9%	+8.7pt

正社員派遣/請負

売上総利益　⇒　前年同期比　+8.6億円
採用・育成の強化　⇒　在籍人数の拡大 (P.13参照)

外国人雇用支援

売上総利益　⇒　前年同期比　+1.2億円
支援体制の拡充　⇒　支援人数の拡大 (P.15参照)

人材紹介

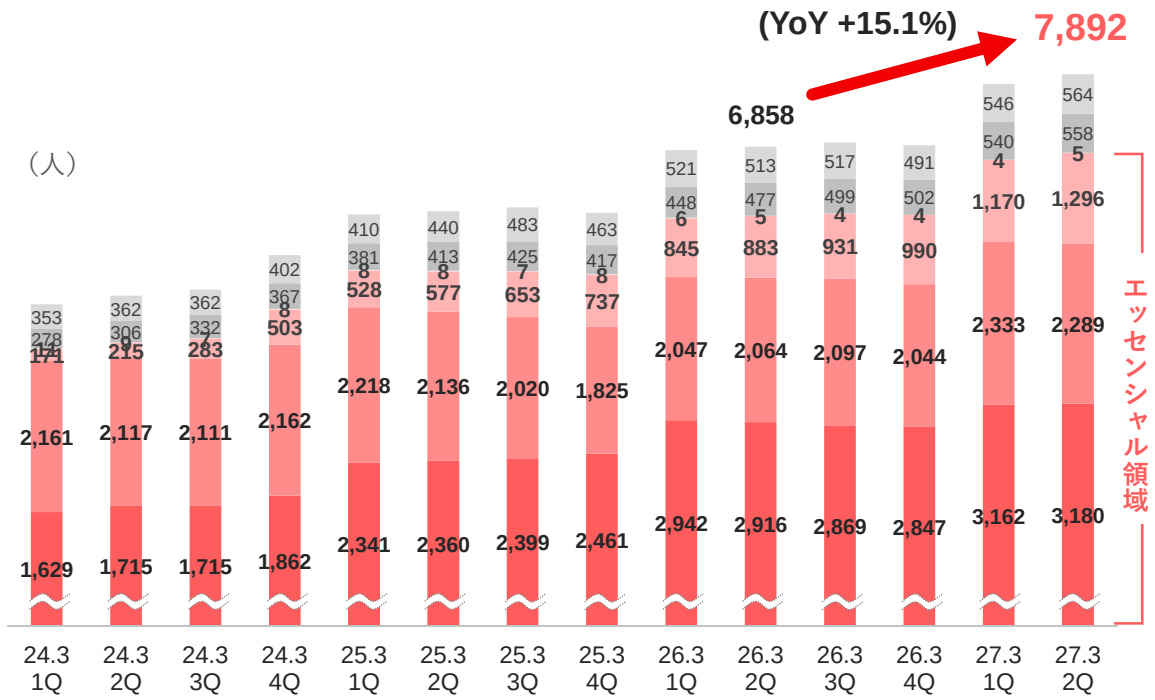
売上総利益　⇒　前年同期比　+11.8億円
職業紹介体制の拡充　⇒　紹介人数の拡大 (P.15参照)

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

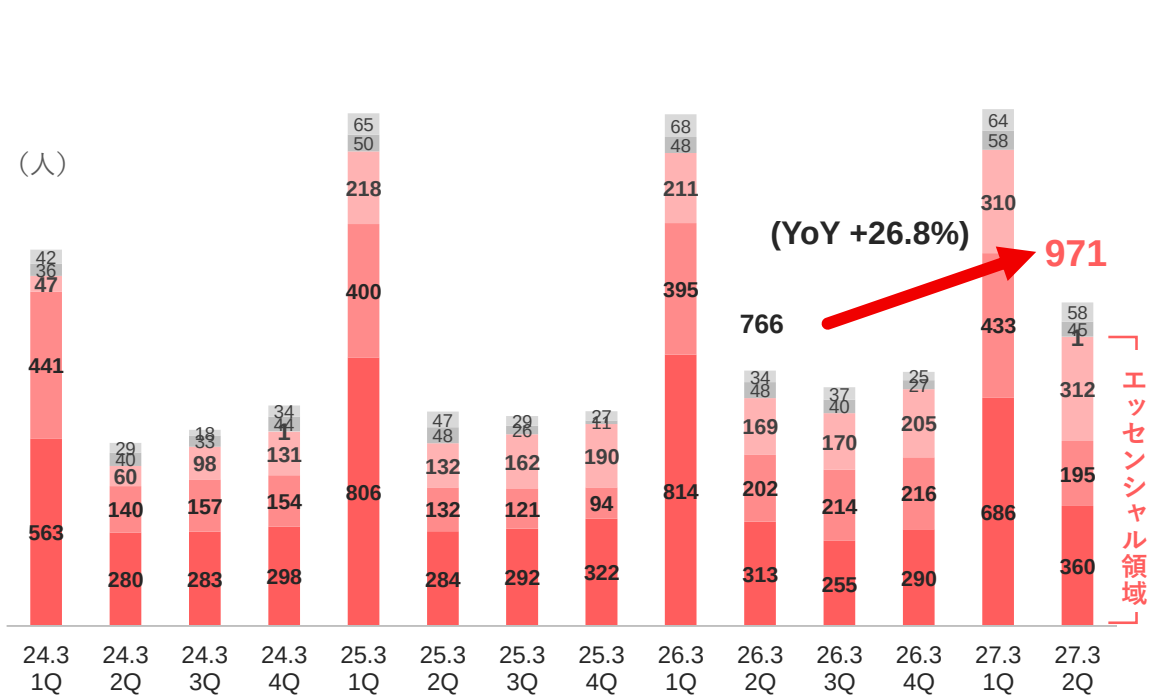
国内Working事業　－ 主要KPI（正社員派遣/請負） －

- エッセンシャル領域*1を中心に、正社員派遣/請負の在籍人数は順調に拡大（前年同期比 +1,034名）。
- 継続的なブランドプロモーションによる認知度向上に加え、採用ノウハウの蓄積・高度化による採用力強化を背景に、正社員派遣/請負の採用人数は堅調に推移。
  （27.3期1Qには、新卒採用599名を含む。(コンストラクション：348名、セールス：228名、ファクトリー：8名、IT：13名、コールセンター：2名) ）

正社員派遣/請負　在籍人数



正社員派遣/請負　採用人数

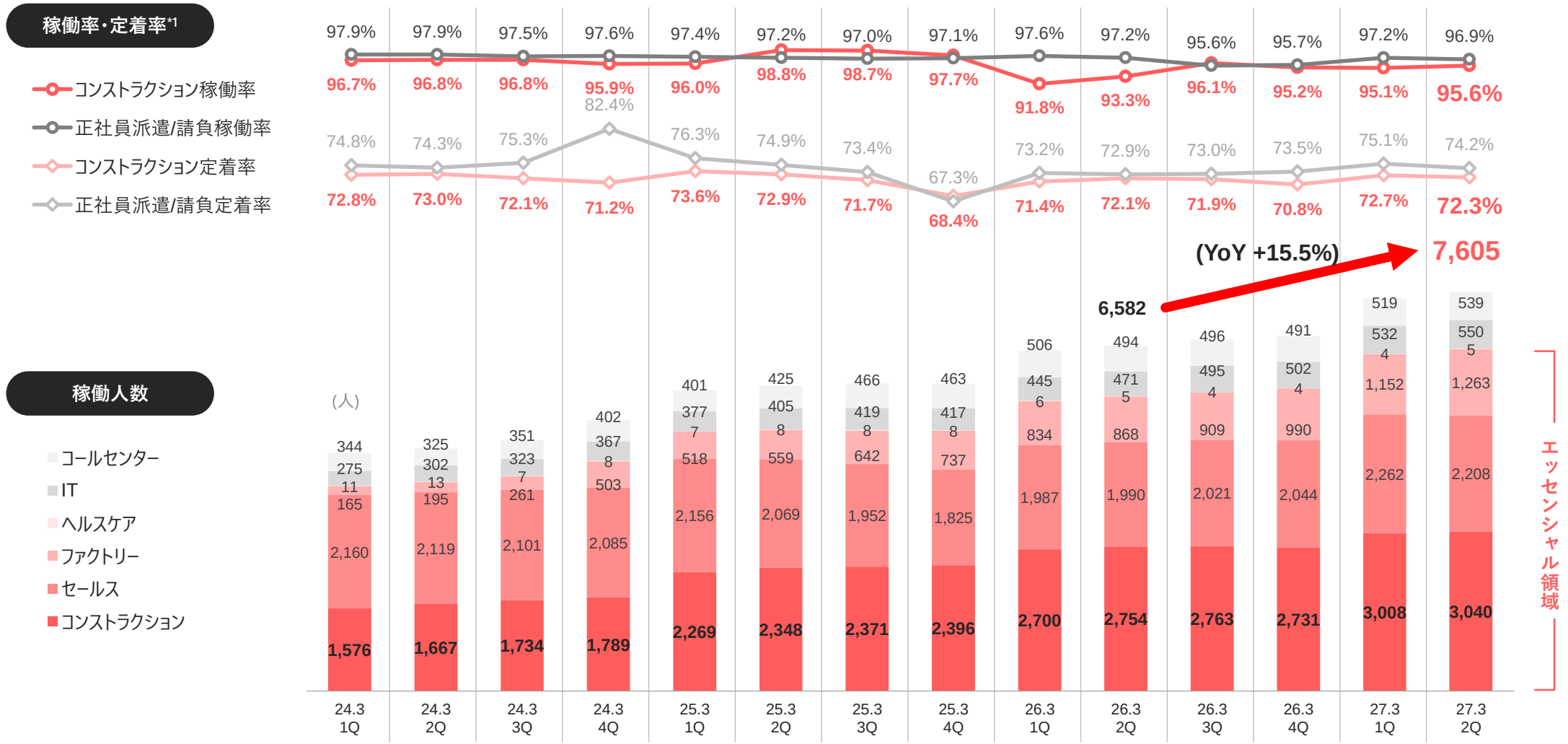


*1　社会生活を維持するために必要不可欠、かつAI代替・自動化されにくい領域。一般的にエッセンシャルワーカーと定義される領域を含む。

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

国内Working事業　－ 正社員派遣/請負（稼働人数・稼働率・定着率） －

- 各分野において、配属先の適切な見極めや就業後の定期面談フォローなど、定着率向上のための取り組みを実施。定着率は前年同期を上回る。
- 稼働率は、各分野とも90％後半の高水準を維持。引き続き、新規顧客開拓を含めた配属先の拡充等、早期配属へ向けた取り組みを継続。



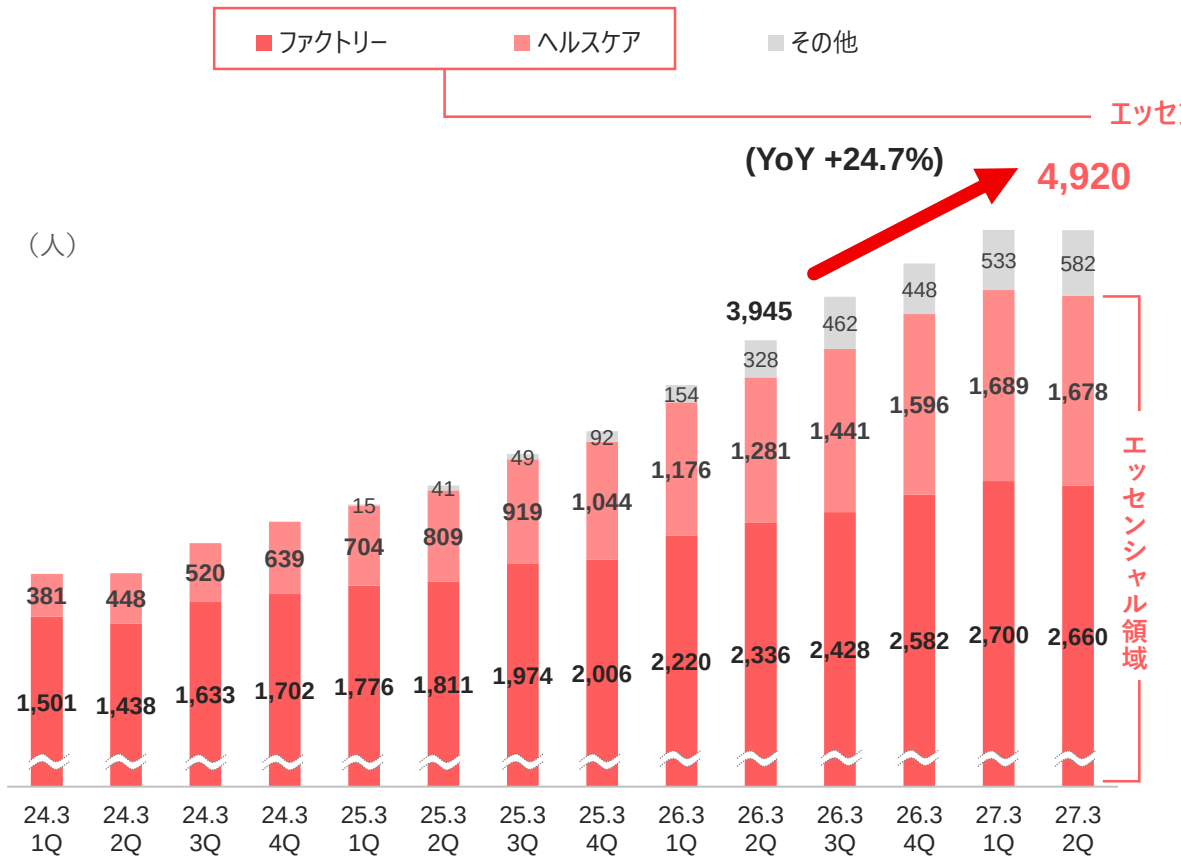
*1　コンストラクションの1Qの稼働率は、新卒研修期間の影響を除外した6月単月の稼働率。

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

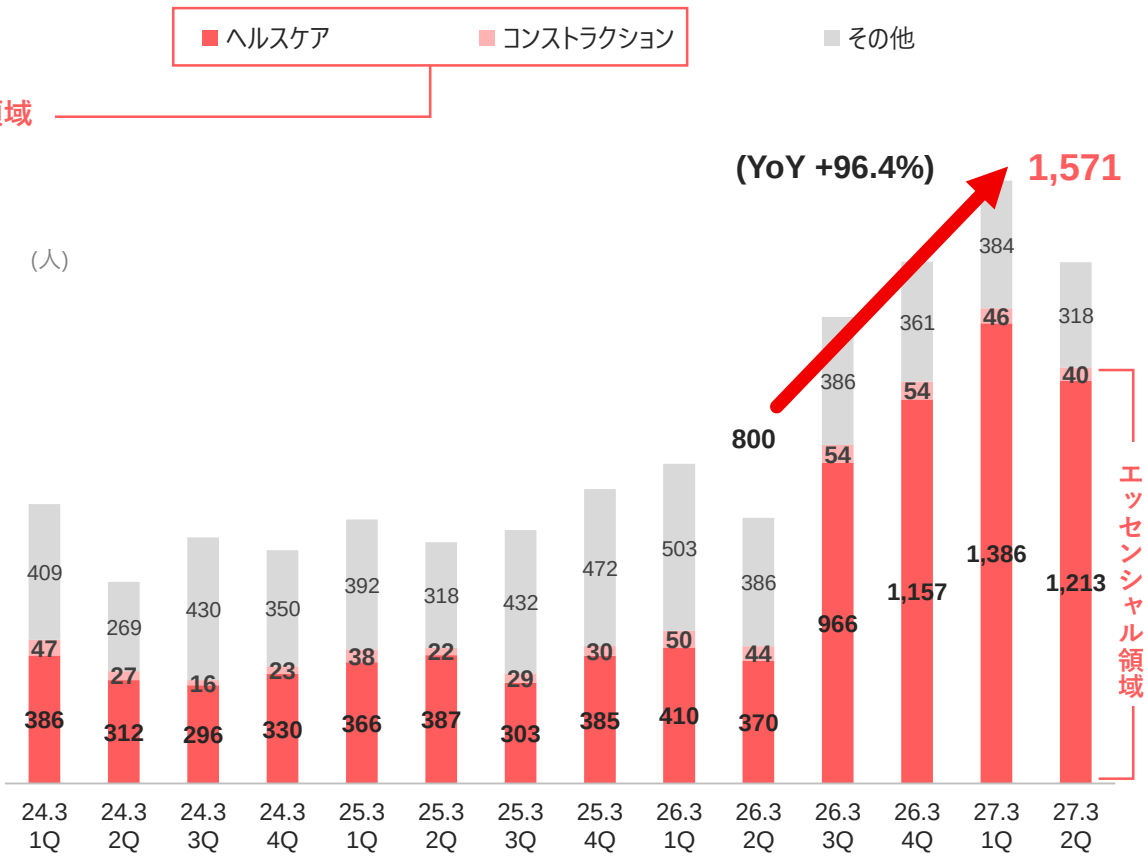
国内Working事業　－ 主要KPI（外国人雇用支援・人材紹介）

- 外国人雇用支援は、ファクトリー・ヘルスケア分野において、既存顧客への営業活動と受入れ後の生活・就業支援に注力。両分野で支援人数は過去最高水準を維持し、継続的な収益確保に向けた基盤を強化。
- 人材紹介事業は、26.3期3QにグループインしたHR CAREER社が寄与し、ヘルスケア分野が堅調に推移。入社人数は、季節要因により1Q比減だが着実に増加傾向。

外国人雇用支援　支援人数



人材紹介　入社人数



*1　社会生活を維持するために必要不可欠、かつAI代替・自動化されにくい領域。一般的にエッセンシャルワーカーと定義される領域を含む。

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

国内Working事業　－ 採用力強化を目的としたブランドプロモーション －

- 人材獲得競争が続く中、採用力強化に向けてブランドプロモーションを継続し、認知度向上と応募者との接点拡大を推進。
- 「WILLOF (ウィルオブ) 」全体の認知率はプロモーション実施前と比較して大幅に上昇し、自社媒体経由での応募数も増加傾向。

これまでの取り組み

2023年7月～	「WILLOF (ウィルオブ)」のブランドプロモーション開始
↓	テレビCM、SNS等を利用したプロモーション戦略を継続実施
2026年6月～	新CM「ウィルオブとおはなししませんか？」放映

ブランドプロモーションの効果

「WILLOF (ウィルオブ)」の認知率*1

23.3期 (プロモーション実施前)　⇒　27.3期2Q

約285%UP

*1 放映地域20~59歳男女の助成想起率



ウィルオブ

ウィルオブのサイトからCMをご覧いただけます
https://willof.jp/

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

国内Working事業　－ グループ内組織再編 (連結子会社間の統合・商号変更・代表取締役の異動) －

- 国内Working事業の戦略テーマである「正社員・外国人HRビジネスの拡大」の推進のため、連結子会社間の統合、商号変更、代表取締役の異動を決定。
- グループの一体化と経営資源の有効活用を進め、業務効率化や生産性の向上を図るとともに、採用環境やコスト構造の変化に対応し、事業競争力と経営基盤を強化する。

グループ内組織再編の目的

国内Working事業における「正社員・外国人HRビジネスの拡大」の推進

連結子会社間の統合、商号変更、代表取締役の異動

経営基盤の集約による採用・定着の強化、生産性の向上

統合当事会社	株式会社ウィルオブ・ワーク 株式会社ウィルオブ・コンストラクション
統合後の新商号	株式会社ウィルオブ
新代表取締役	田中謙 (現 株式会社ウィルオブ・ワーク 取締役、 株式会社ウィルオブ・コンストラクション 代表取締役)
効力発生日	2027年4月1日 (予定)

連結子会社の商号変更

サービスブランド統一による集客力の強化

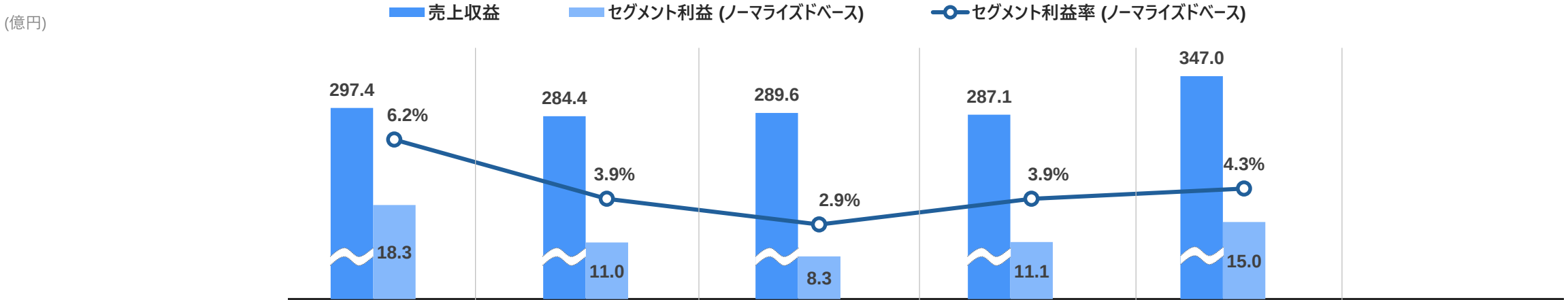
現商号	株式会社HR CAREER
新商号	株式会社ウィルオブ・キャリア
効力発生日	2027年4月1日 (予定)

2026年10月27日適時開示「グループ内組織再編（連結子会社間の合併、連結子会社2社の商号変更及び連結子会社の代表取締役の異動）に関するお知らせ」

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

海外Working事業　－ 全体 －

- 売上収益は、前年同期比+20.9%の347.0億円となり、23.3期の実績を上回り、上期過去最高を達成。
- セグメント利益率 (ノーマライズドベース) は、4.3％ (前年同期比 +0.4pt) 。23.3期の6.2％には及ばないものの、人材紹介事業が堅調に推移したことに加え、派遣スタッフ1人当たり売上総利益の向上により、収益性は着実に改善。



	23.3期2Q累計	24.3期2Q累計	25.3期2Q累計	26.3期2Q累計	27.3期2Q累計	前期比
売上収益	297.4	284.4	289.6	287.1	347.0	+20.9%
ノーマライズドセグメント利益*1 (セグメント利益)	18.3 (19.1)	11.0 (11.2)	8.3 (11.1)	11.1 (11.5)	15.0 (15.5)	+34.4%
ノーマライズドセグメント利益率	6.2%	3.9%	2.9%	3.9%	4.3%	+0.4pt

*1　ノーマライズドセグメント利益：一過性の損益 (政府補助金) を除いたセグメント利益

為替感応度	計画レート	2Q実績レート	前年同期レート	1円変動による影響額 / 年	
				売上収益	利益
オーストラリアドル	105円	113円	95円	379百万円	12百万円
シンガポールドル	121円	125円	113円	193百万円	13百万円

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

海外Working事業　－ 戦略テーマ －

- 中期経営計画「WILL-being 2029」における海外Working事業の戦略テーマは、「生産性を重視した収益力の強化」。
- 既存の顧客基盤と専門性を活かした生産性向上と、為替・政策変動リスクを踏まえた収益管理を徹底するとともに、市場性・収益性を見極めた他国展開や新領域への参入を検討し、市場環境の変化に左右されにくい安定的な収益基盤を確立することで、ポストコロナ以前の安定利益水準への回帰を目指す。

海外Working事業

生産性を重視した収益力の強化

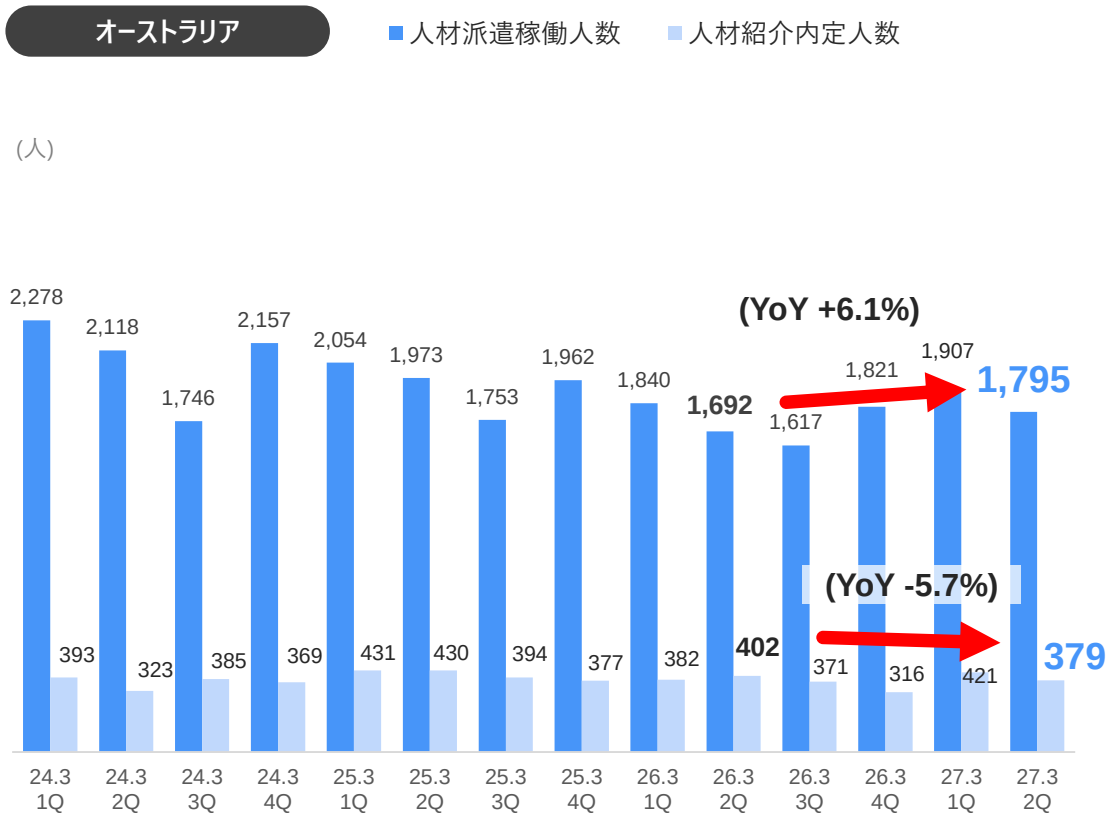
- 生産性を重視
- 成長余地の高い領域への資源配分
- 新たな国/領域の探索

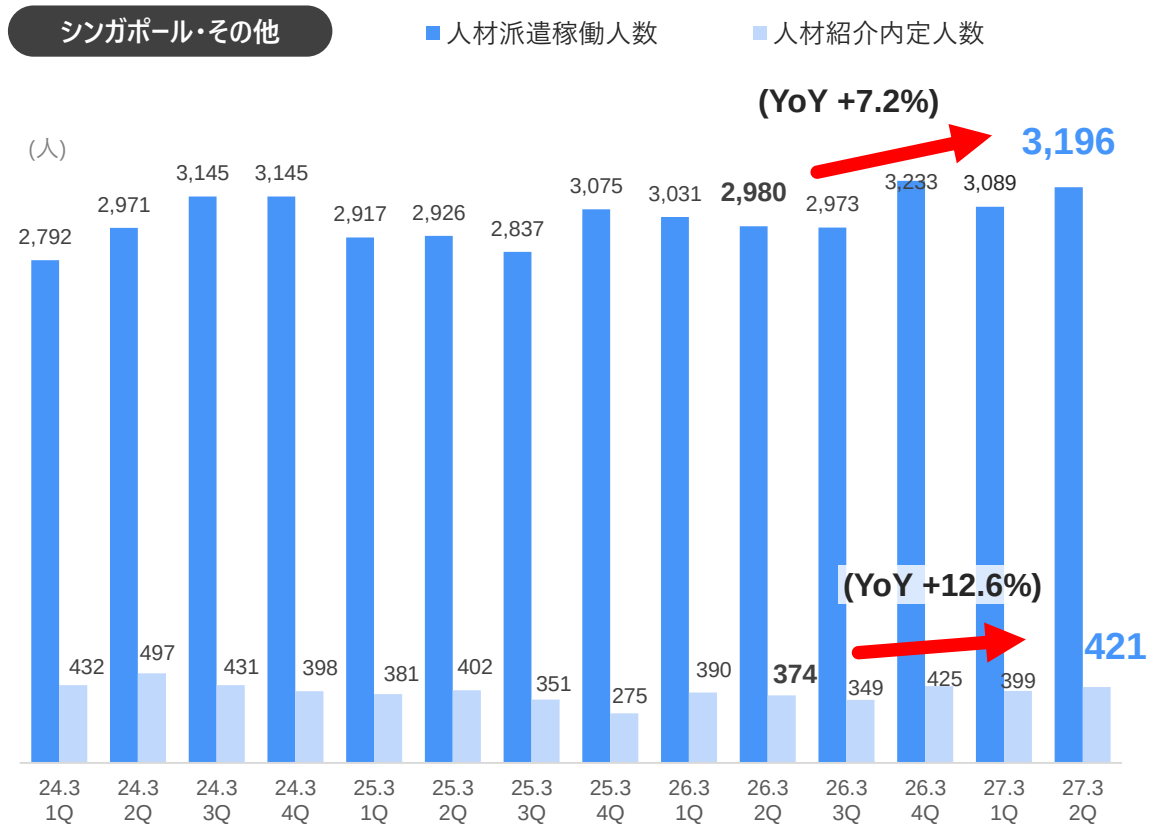
© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

海外Working事業　－ 主要KPI（人材派遣稼働人数・人材紹介内定人数） －

- オーストラリアにおいては、連邦政府関連の採用代行需要の低迷が続き、紹介内定人数は伸び悩むものの、収益性に応じた人員配置・採用計画の最適化により営業生産性は向上。
- シンガポール・その他においては、政府系案件やIT関連案件に注力し、派遣稼働人数・紹介内定人数ともに堅調に推移。高単価な人材紹介案件の獲得や派遣スタッフ1人当たり売上総利益の向上が、収益性改善に寄与。

人材派遣稼働人数・人材紹介内定人数

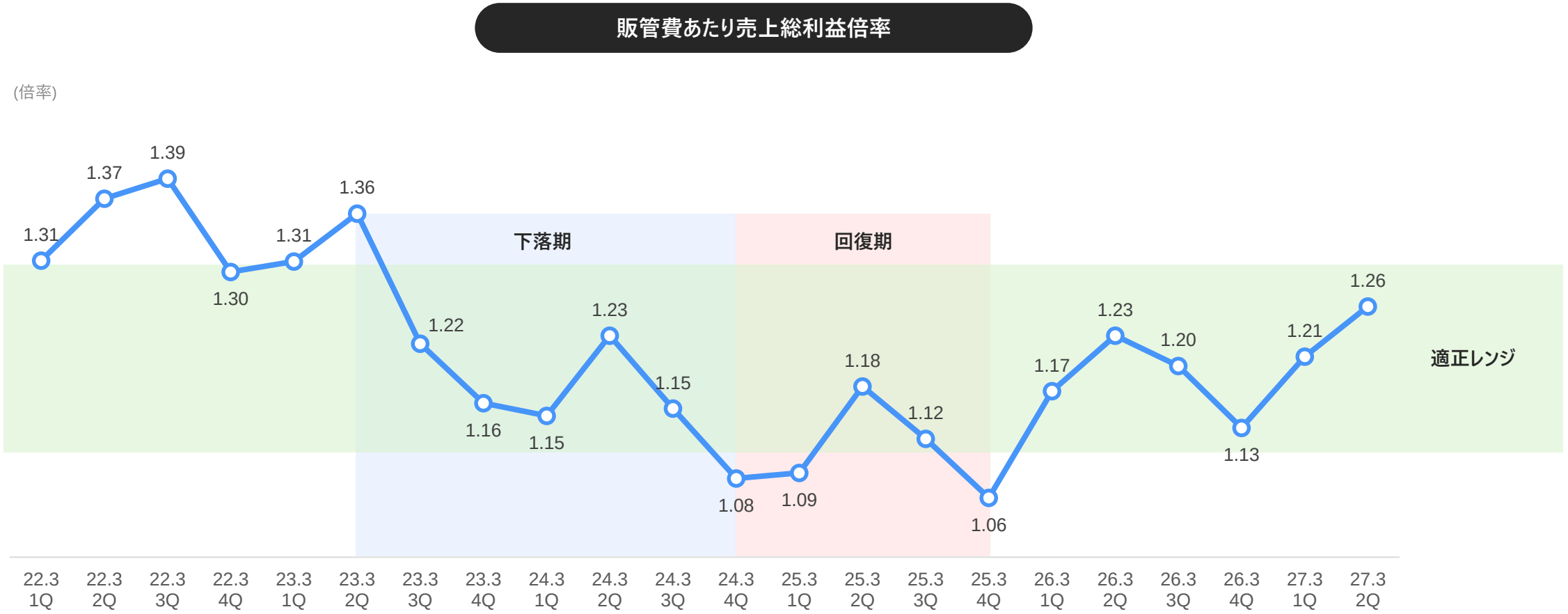




© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

海外Working事業　－ 主要KPI（販管費あたり売上総利益倍率） －

- 販管費あたり売上総利益倍率は、ポストコロナの人材需要の一巡やインフレ加速の影響により、23.3期から24.3期にかけて低下したものの、収益性を重視した資源配分、販管費コントロール及び生産性向上により、25.3期以降は回復傾向となり適正レンジ内を維持。



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

連結業績

- 中期経営計画「WILL-being 2029」の戦略テーマの推進により、売上規模の拡大と収益性の向上を両立し、利益成長が進展。

単位：億円	前年同期	当期実績	前年同期比 (額)	前年同期比 (率)	上期業績予想 (2026年8月7日公表)	業績予想比 (額)	業績予想比 (率)
売上収益	**715.3**	**817.3**	**+102.0**	**+14.3%**	**818.8**	**-1.5**	**-0.2%**
うち、国内Working事業	427.6	469.8	+42.2	+9.9%	470.8	-0.8	-0.2%
うち、海外Working事業	287.1	347.0	+59.8	+20.9%	347.7	-0.6	-0.2%
うち、その他	0.4	0.3	-0.0	-14.0%	0.3	-0.0	+0.6%
売上総利益	**153.6**	**188.8**	**+35.2**	**+23.0%**	**188.8**	**+0.0**	**+0.0%**
(売上総利益率)	(21.5 %)	(23.1 %)	+1.6pt		(23.1 %)	+0.0pt	
営業利益	**16.3**	**24.9**	**+8.5**	**+52.0%**	**21.3**	**+3.6**	**+16.9%**
(営業利益率)	(2.3 %)	(3.0 %)	+0.7pt		(2.6 %)	+0.4pt	
うち、国内Working事業	17.6	22.1	+4.5	+25.6%	20.5	+1.5	+7.7%
うち、海外Working事業	11.5	15.5	+4.0	+35.5%	14.2	+1.3	+9.3%
うち、その他	(1.5)	(1.8)	-0.2	–	(2.0)	+0.1	–
うち、調整額	(11.2)	(11.0)	+0.1	–	(11.5)	+0.5	–
親会社の所有者に帰属する当期利益	**11.4**	**16.2**	**+4.7**	**+41.5%**	**13.4**	**+2.7**	**+20.7%**
EBITDA	**26.1**	**36.8**	**+10.7**	**+41.3%**	**33.1**	**+3.7**	**+11.2%**

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

Agenda

1. 2027年3月期 第2四半期 (累計) 実績 P. 3

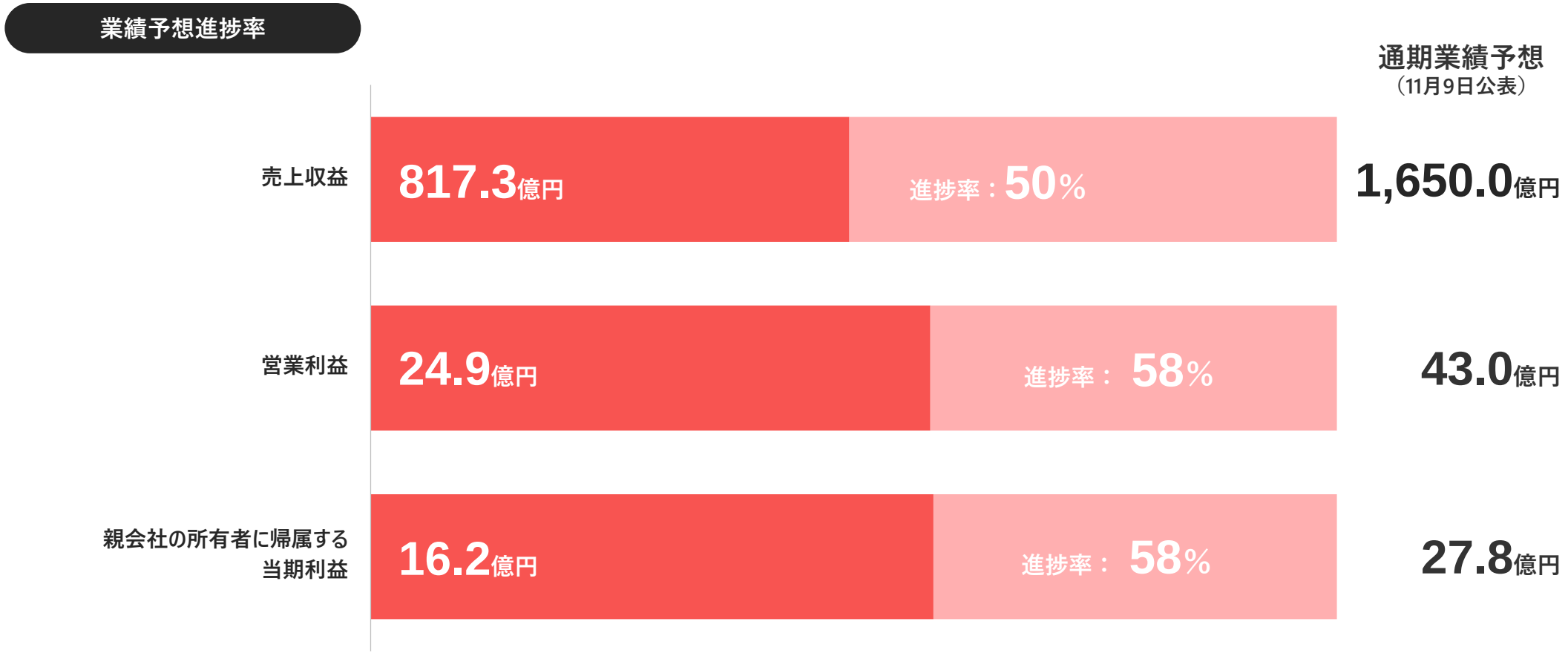
▶ 2. 2027年3月期 通期業績予想、株主還元 P. 23



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

連結業績見通し

- 好調な上期業績を織込み、通期業績予想を上方修正。
- 利益については、子会社の本社機能移転コストやブランドプロモーションコストの増加を見込む一方、国内Working事業、海外Working事業ともに堅調に推移する見込み。



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

株主還元

- 利益成長を通じた企業価値向上を目指しつつ、これまで継続してきた累進配当方針を継続する。
- 2027年3月期の配当予想は、前期実績(1株当たり44円)を据え置く。

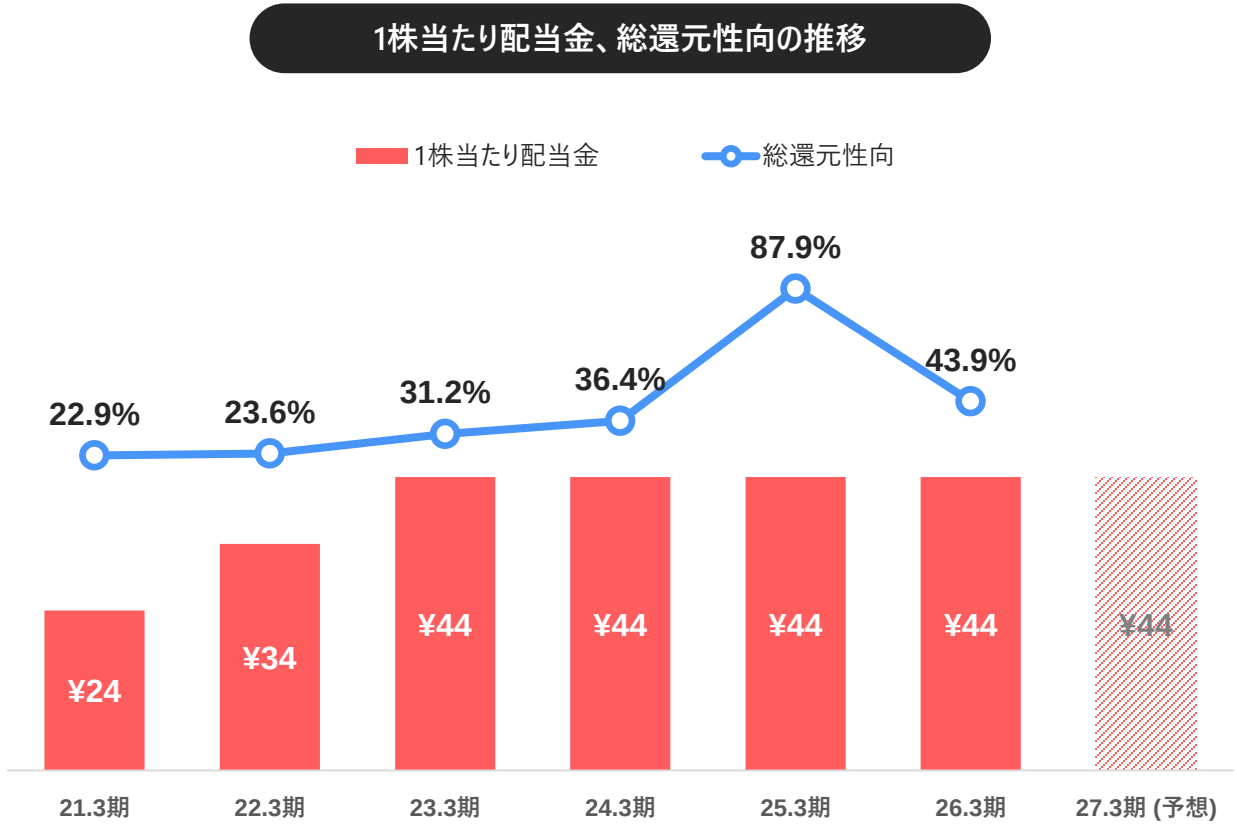
新中期経営計画期間(27.3期-29.3期)中の株主還元方針

累進配当

減配を原則実施せず、増配または維持

総還元性向30%以上

期中の業績に応じ、機動的な自己株式取得を都度検討



© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウィルグループ　カンパニーセクレタリー室IRグループ
TEL：03-6859-8880
Mail：ir@willgroup.co.jp

■「IRメール配信サービス」のご案内

当社では、IRに関するメール配信を行っています。
適時開示情報やニュースリリース等最新のIR情報を素早くお届けしていますので、
ぜひご登録ください。

IRメール配信登録▶

WILL GROUP

© WILL GROUP, INC. All Rights Reserved.